

JGN イベント利用報告書

イベント番号(イベント-230)

提出日 年 月 日

(1)イベント名

SIGCOMM2007

(2)イベント概要

(イベントの概要について、目的・内容・出席者・利用方法等について記入してください。)

目的:SIGCOMMはACM(会員8万人)に属する35のSIGのうち、データコミュニケーション分野の第一人者によって形成される団体で年1回の会議を開催しています。

内容:SIGCOMM2007では、11のセッションを含むカンファレンスと6つテーマに絞った発表と議論を行うワークショップが行われます。

-ワークショップの6つのテーマ

- Internet Network Management
- Large scale attack defense
- MobiArch
- Peer-to-Peer Streaming and IPTV Systems
- IPv6
- Networked Systems for Developing Regions

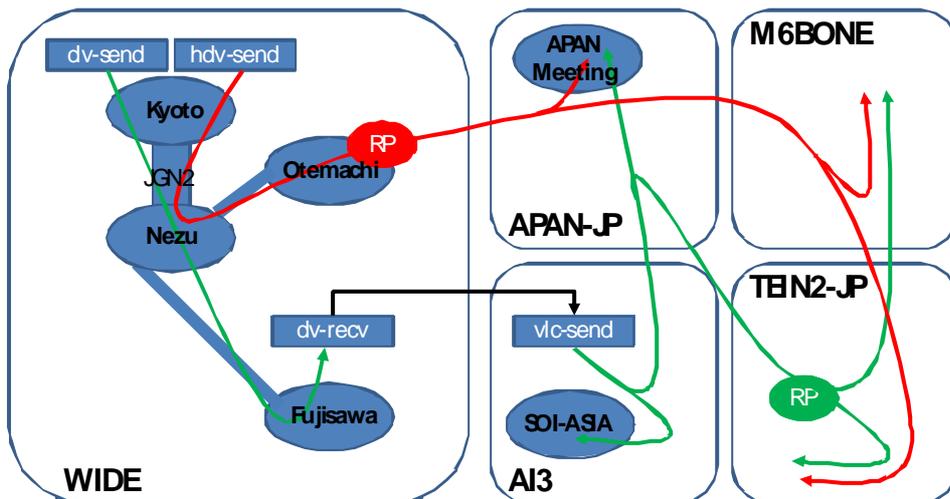
出席者:例年約30カ国から400-500名の参加者があります。

利用方法:JGN2を利用して、会場である国立京都国際会館とインターネットを接続し、SIGCOMM2007出席者に対するネットワーク接続性の提供するとともに、同カンファレンスにおけるワークショップの映像等を複数のASに対してIP(v4/v6) Multicastを用いて配信を行う。

(3)JGN2利用の概要

関東1-近畿5間10GBASE内2VLANで、会場とR&E NW間接続に利用。

Multicast Topology @ SIGCOMM 2007



(4) イベント参加人数

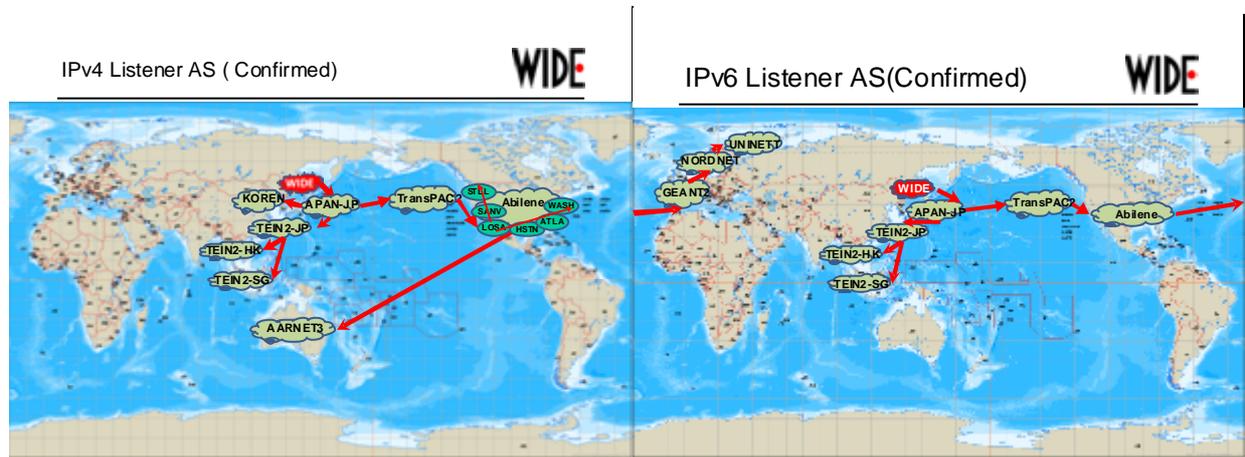
カンファレンス参加者数: 510 名・Workshop(8/27)参加者数: 191 名・Workshop(8/31)参加者数: 201 名

国別参加者数:

Australi	4	Hong Kong	4	Singapore	1
Austria	1	India	7	Spain	2
Belgium	2	Israel	2	Sri Lanka	2
Brazil	5	Italy	5	Sweden	5
Canada	3	Japan	131	Switzerland	7
China	24	Kuwait	1	Taiwan	6
Cuba	1	Netherland	5	Thailand	3
Finland	10	Norway	5	UK	30
France	23	Pakistan	1	Uruguay	1
Germany	14	Portugal	1	USA	197
Greece	1	Republic of Korea	50		

(5) 実施の評価等

本会議にて、ASIA IPv6 Multicast live streaming と HD quality live streaming の 2 つの IPv6 Multicast live streaming は、各国際学術研究ネットワークに対して IPv6 multicast capable を意識させる大きな動機を与えた。費用面その他で参加できなかった各国の研究者は、MLでの streaming アナウンスにより、IPv4/IPv6 multicast での受信を世界各地で試み、各学術研究ネットワーク NOC に対して multicast 受信可能要求をしたために、暫定サポートを含めアジア域内では、1 国+1 紛争地域を除きすべての国の研究者が、現地および遠隔で会議に参加することが可能となった。



IPv4/IPv6 multicast による会議参加者収容 NW

また。会場内では無線/有線 LAN にて、会議参加者へ快適な internet 接続環境を提供できた。会場内無線 LAN へのアクセス総数(ユニーク MAC 数)は 550 にのぼり、無線種別の比率は、11bg:11a=2.7:1 であった。MAC アドレスからみた製品比率は、約 40%が Intel、約 25%が Apple であった。当初は会議内での超広帯域利用デモンストレーションも行われるという話も聞いていたが、実際には、デモンストレーションは行われず、JGN2 への接続インターフェースでの traffic は SIGCOMM2007 機器 inbound で 42.6Mbps、outbound で 101.4Mbps となった。

(6)開催模様



会議模様